イクネスしばたサポータークラブ情報発信誌

イクサボ通信 vol.19

発行/2021年7月28日 発行者/イクネスしばたサポータークラブ事務局 〒957-0055 新発田市諏訪町1丁目2番12号

サポーターもイクネスしばたと共に5周年を迎えました

7月3日、4日にイクネスしばたとサポータークラブが共催で「イクネスしばた開館5周年祭」を開催しました。

3日は、各部会によるマジック、うたあそび、絵本の読み聞かせ、七夕飾り、デコレーション寿司レシピのプレゼントで来てくれた皆さんに楽しんでもらいました。また、記念講演会では、元NHKアナウンサーの工藤三郎さんに「スポーツ実況のプロが見た放送席からの名場面」と題してオリンピック等の実況での経験を基に語っていただきました。

4日は、ビブリオバトル、イクネスシネマ、昔がたりを開催し、サポーターそれぞれの創意工夫により5周年祭を盛り上げました。これは、日頃のサポーターの皆さんの多様な活動の取り組みの成果だと思います。

図書館コンサルタントである菅原峻さんの養生訓に「図書館は5年で1歳」とあります。イクネスしばたもようやく 1歳となり歩き始めました。サポーターの皆さんがいろいろな立場で参加、工夫を重ねることで、イクネスしばたと共 に成長していけたらいいなと思います。 イクネスしばたサポータークラブ 代表 神田 良子

7月3日(土)





総合活動部会

多目的室4・5で、数種類の短冊の中から好きな短冊を 選び、かなえたい願いごとを書いてもらい、1階玄関ホー ルに飾りました。

「足が速くなりますように」「元気に大きくなりますよう に」「みんなが幸せになりますように」など各自の思い思 いの願いごとを飾りました。

▲七夕飾りの様子

キッチンスタジオ部会

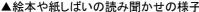
5月24日の部会で、部員の知恵とサポーターとしての経験を活かし、 断面をモチーフにした"飾り巻き"の作製とスタジオでの陳列、レシピ の配布を計画しました。

飾り部分を彩る細工に四苦八苦しながらも、出来上がり図を想像しながら5年に及ぶ会の活動力を集結し、赤ちゃんのいる家庭から、高級嗜好の壮年層の期待に応えられる作品が完成しました。

ご協力頂きました関係各人に深く感謝し、部会一同より御礼申し上げます。







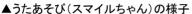




▲デコレーション寿司レシピのプレゼントの様子

こどもセンター部会







▲うたあそび(だいだい)の様子



▲マジックショーの様子



▲イクネスしばた開館5周年記念講演会の様子

およそ40年にわたりNHKのスポーツ実況放送に携わり、現在もスポーツ中継や「NHKラジオ深夜便」などの番組を務めている工藤三郎さんに、スポーツの名場面について語っていただきました。

アナウンサーの登竜門である野球実況と出会えたことが現在に続いているとのことで、工藤さんが担当された1980年に新発田農業高校が出場した夏の甲子園大会、1998年の長野オリンピック実況放送を当時の音声で聞かせていただきました。

「実況は台本のないストーリーであり、伝え方はどの様にでも言える が、気づいたことを言葉でどのように表すかが大切」なのだと言います。

半世紀ぶりに開催される日本でのオリンピック。名場面を彩る実況も 楽しみにしたいですね。

7月4日(日)

図書館部会(図書館利用者友の会)

敬和学園大学ライブリオと共催の「ビブリオバトル」は今回で10回目。毎回、大学生から現役世代・高齢者まで、幅広い年代の参加が特色です。

今回もバトラー6名、観覧者は25名参加いただき、小学生の観覧者の活発な意見で場が盛り上がりました。バトラー紹介本などは図書館3階で展示しました。



▲ビブリオバトルの様子



▲昔がたりの様子

「と~んとむかしがあったてんがのう」とはじまる独特の語り。 5周年祭の締めくくりとして『しばたIROIの会』の皆様をお招き して昔がたりを開催しました。

コロナ禍ということで、話者の前にはアクリル板を用意し、感染防止に配慮しながら行った昔がたりは、図書館所蔵の作品から身近な新発田の昔話を、方言を巧みに駆使して表現豊かに語られ、多くの参加者がその語り口に魅了されていた様子でした。